2024年7月のお知らせ 7月7日発行

1. 今後の典礼

日	主日	聖書朗読	司式	送迎
2024.7.14(日)	年間第 15 主日	マルコ 6・7-13	テハン師	長谷部
2024.7.21(日)	年間第 16 主日	マルコ 6・30-34	テハン師	鈴木
2024.7.28(日)	年間第 17 主日	∃ハネ 6・1-15	李師	_
2024.8.4(日)	年間第 18 主日	ヨハネ 6・24-35	韓師	_
2024.8.11(日)	年間第 19 主日	∃ハネ 6・41-51	テハン師	野口

2. 今後の集会・研修会・講演会等

- 1. 原発被害 13 年目の避難生活から学ぶ 講演:「13 年目の避難生活」 鴨下美和さん、鴨下全生さん
- ・日時:2024.7.27(土)13:30~15:30(13:00 開場) 会場:聖ステパノ学園・海の見えるホール(JR 大磯駅前)
- 2. 2024年 第66回 召命練成会 私はよい羊飼いである(ヨハネ 10・11)、日時:7/30(火)~8/2(金)
- ・場所:聖心会山の家 静岡県裾野市桃園 198(不二聖心女子学院中学・高等学校内)
- 対象: 小学5年生~中学3年生の男子カトリック信者(高校1年以上のサブリーダ大募集)
- 3. オペラ「忘れられた少年―天正遣欧少年使節」(主催:特非営法人東京オペラ協会)
- ・日時、場所:8/3(土)、なかの ZERO 大ホール・第1部 11:00~、第2部 14:30~

3. 今後の予定

- •7/6(土):委員会、7/14(日):月例会
- •7/21(日):キャロリング合同練習会(基督教団)
- •7/27(土)10:00~7/28(日)13:00:教会学校夏合宿
- •7/28(日) 14:00~: 第6 地区臨時運営会、二宮教会
- -7/28(日)午後撮影準備 7/29(月)撮影検討中:映画撮影「ルノワール(仮題」

4. 「列福記念日」

7月1日は福者ペトロ岐部司祭と187殉教者(内:司祭・修道者は5人、他は信徒)の記念日です。

(日本で初めて行われた列福式 2008 年 11 月 24 日長崎)、日本 26 聖人(1862 年列聖)、日本 205 福者(1867 年列福)、元和の大殉教 55 名(1868 年列福)、聖トマス西と 15 殉教者(1987 年列聖)、福者ユスト高山右近(2017 年列福)が記念されています。個人的に身近な福者は、1600 年ころに信徒が 2,000 人余りいたとされる福岡小倉藩のキリシタン家老で武将の福者ディエゴ加賀山隼人(高山右近の居城の高槻城で生まれ、1619 年 10 月 15 日殉教・斬首)信仰は熊本の小笠原玄也と妻(加賀山隼人の娘)の子「みや」に引き継がれ、小倉で顕彰と祈りがささげられました。2004 年当時、信徒が「みんなで造ろう、みんなの教会」を目指して、「マリア様とディエゴ加賀山隼人に支えられて・・・」のスローガンのもとで、ともに歩みたいと教会が一致団結しました。福者ディエゴ加賀山隼人の時代にカトリック信徒が国是に反して信仰を守り通したことを考えると、自身の信仰を次の世代に継承したことに、現代に生きる私たちが気付くことがとても大事なことだと思います。

殉教者は遠い存在ではなく、我々信徒の日々の生活の中に、いつも共にいてくださり見守ってくださいます。殉教と訳される元のことばは、ギリシャ語の「マルティリア」(=イエス様の行動に裏打ちされた<u>あかし</u>である)と教えていただきました。これからは、聖書の正しい理解と教義の体得を目指して、典礼歴を一歩ずつ歩みたいと思います。当時、神父様がわれわれ信徒に語られた次のことばが思い出されます。「日本のカトリック教会は殉教者の血から生まれ、殉教者の血のうえに立てられたといっても過言ではありません」(oi)